

《対応アプリバージョン》

Office 2021/2019/2016/2013/2010/2007

教師用資料

# P検実施ガイド



**P**検の**P**は  
ICTプロフィシエンシーの**P**です。



ICTを活用した問題解決力、ICTプロフィシエンシー  
いま社会で、世界で、求められています。

進化するICT社会のパスポート

## ICTプロフィシエンシー検定試験

# P検

ICT **P**roficiency Assessment

事務局(P検事務局)：株式会社ベネッセコーポレーション

# P検

## 目次

<b>1. 実施要項・動作確認・実施方法</b>	
<b>1</b> 「学校団体受験」制度 実施要項 .....	2
<b>2</b> 合格支援制度（校内コンクール、校内フリーコンクール、再チャレンジ制度） .....	3
■P検免除テスト（P検タイピング、P検アプリ） .....	4
<b>3</b> パソコン環境・仕様 .....	6
<b>4</b> 試験実施前の「パソコン動作確認」 .....	7
<b>5</b> 受験申請、本受験 .....	11
<b>2. 試験トラブルの対応</b>	19
<b>3. Q&amp;A</b>	21

## 1 「学校団体受験」制度 実施要項

■ 実施日程	随時 (学校行事に合わせて、先生が自由に設定できます)																											
■ 受験申請	随時 「試験官ログイン画面」から、いつでも申請できます。 (受験開始日は、当日実施分から、3ヶ月先まで申請することができます) ※ログインするには、「会場コード」と「会場パスワード」が必要です。																											
■ 「学校団体受験」対象校	学校教育法で定められた次の初等・中等教育を行う教育機関 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、高等専修学校、特別支援学校、インターナショナルスクール・民族学校など  学校教育法で定めがない以下の教育機関についても同様の扱いとします。 ■ 文部科学大臣が認定する私立在外教育施設 ■ 国および地方公共団体が管轄する、初等・中等教育に相当する機関 ■ 学校教育法に基づいて教育委員会から指定を受けた「技能連携校」、および学校教育法で定められた学校に附属する教育施設																											
■ 受験対象者	学校内の生徒さん、教員および学校職員等																											
■ 受験申込者数	随時実施型につき、生徒さん一人からでも受験できます。																											
■ 実施責任・試験官	教員																											
■ 会場コード・会場パスワードの厳重管理<★重要>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 受験者の試験結果データ(個人情報を含む)は、P検サーバーに1年間保存され、先生は閲覧することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ご担当先生の責任において、「会場コード」と「会場パスワード」は厳重に管理してください。</li> <li>□ ご担当先生の責任において、「会場パスワード」は、定期的に変更してください。(先生MENUの「D.学校登録情報の確認・変更」より変更できます)</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">パスワードは、英数字記号を使用して8桁以上でお願いします</p> <p>* 「会場コード」と「会場パスワード」がお分かりにならない場合は、下欄の専用電話番号までお問い合わせください。</p>																											
■ 実施可能級 / 受験料 / 実施形態	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施可能級</th> <th>受験料・税込(学割価格)</th> <th>実施形態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">2級</td> <td>4,180円</td> <td rowspan="4">CBT方式 Computer Based Testing パソコンを利用して 試験を行う方式</td> </tr> <tr> <td colspan="2">準2級</td> <td>2,550円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">3級</td> <td>2,040円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">4級</td> <td>1,530円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">5級</td> <td>無料</td> <td>WEB無料受験</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">P検 免除テスト</td> <td>P検タイピング</td> <td>無料</td> <td rowspan="2">CBT方式</td> </tr> <tr> <td>P検アプリ</td> <td>200円</td> </tr> </tbody> </table>	実施可能級		受験料・税込(学割価格)	実施形態	2級		4,180円	CBT方式 Computer Based Testing パソコンを利用して 試験を行う方式	準2級		2,550円	3級		2,040円	4級		1,530円	5級		無料	WEB無料受験	P検 免除テスト	P検タイピング	無料	CBT方式	P検アプリ	200円
実施可能級		受験料・税込(学割価格)	実施形態																									
2級		4,180円	CBT方式 Computer Based Testing パソコンを利用して 試験を行う方式																									
準2級		2,550円																										
3級		2,040円																										
4級		1,530円																										
5級		無料	WEB無料受験																									
P検 免除テスト	P検タイピング	無料	CBT方式																									
	P検アプリ	200円																										
■ 受験料支払方法	「可否通知」送付の際、実受験者数分の「受験料計算書」と「ゆうちょ振込用紙」を同封いたします。期間中、「再チャレンジチケット」のご利用があった場合には、その分を減額してご請求いたします。																											

「会場コード」「会場パスワード」が分からないときは…

《専用電話番号》

**0120-501-084** (通話料無料)

\* 受付時間：月～金 8:00～18:00 土 8:00～17:00 (祝日、年末・年始を除く)

## 2 合格支援制度

### 校内コンクール（無料／協会発行「賞状」郵送します）

学校内で先生が企画する「校内コンクール」を実施する場合に、生徒さんの学習意欲を高めるお手伝いとして、P検協会発行の賞状を送付いたします。



■ 申込条件	2級～4級の本試験の受験希望者が20名以上の場合。 P検タイピング・P検アプリは対象外となります。
■ コンクールの内容	協会発行「賞状」3枚（金賞、銀賞、銅賞）を進呈。（生徒さんのお名前は学校の方でご記入となります） 表彰基準は学校側でご自由に決めていただいて結構です。
■ 申込方法	[先生MENU] - [A. 受験申請フォーム] にログインすると、[校内コンクール申込希望欄]がありますので、そちらよりお申し込みください。



### 校内フリーコンクール（無料／WEB登録・印刷方式）

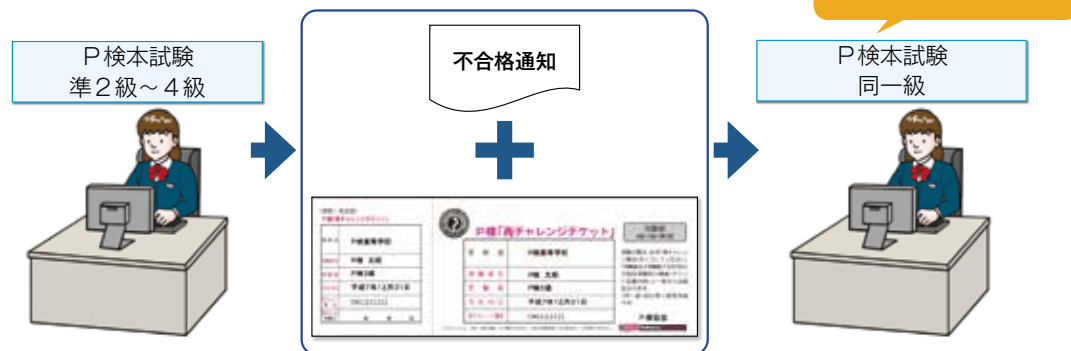
学校が主催・P検協会が後援する「校内コンクール」を、先生が自由に企画・実施できます。賞状は、WEB上で自由に生成・印刷することができます。

■ 申込条件	なし
■ コンクールの内容	コンクール名、順位名称、主催者名、生徒さんのお名前などを入力し、プレビュー画面で確認の後、印刷してご利用ください。表彰基準は学校側でご自由に決めていただいて結構です。
■ 申込方法	[先生MENU] - [F. フリーコンクール] にログインし、案内に従ってご利用ください。



### 再チャレンジ制度（無料／2級は対象外）

無料で再受験！



#### ① P検本試験を受験

■ 4月1日から2月末日までの間にP検本試験（準2級～4級）を受験して不合格になられた生徒さんには、不合格通知と一緒に、もう一度だけ同一級を無料で受験できる「再チャレンジチケット」が発行されます。

#### ② 再チャレンジチケット発行

#### ③ 「P検本試験」で「再チャレンジ番号」を入力

■ 「再チャレンジチケット」に記載されている「再チャレンジ番号」を入力してP検本試験を開始すれば、その試験は無料で受験することができます。  
■ 「再チャレンジ番号」は、同年度内（直近の3月末まで）に一回だけ同一級の再受験に使用できます。

### ご注意

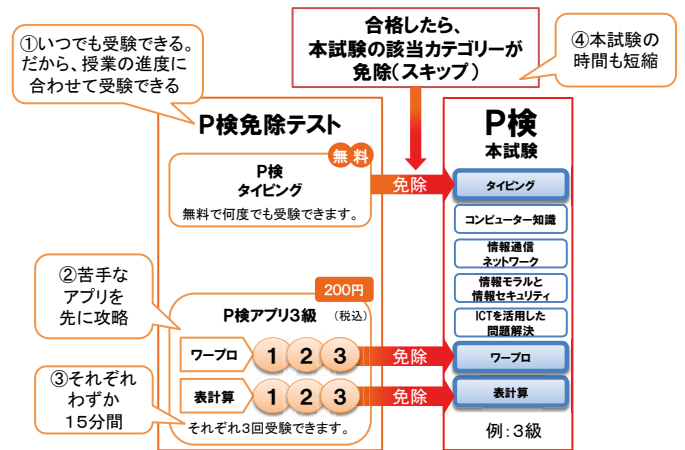
項目	内容
■ 対象等級	準2級、3級、4級（2級は対象外）
■ お届け方法	不合格通知に同封で送付します。（4月～翌2月末までの受験に限る）
■ 使用期間	チケット到着～同年度内（直近の3月末まで）
■ 受験申請	通常の本試験と同様に申請してください。受験の際に「再チャレンジ番号」を入力すれば無料になります。
■ 使用方法	受験の際、「再チャレンジ番号」を入力する画面で、チケットに記載されている「再チャレンジ番号」を入力してください。
■ その他	<input type="checkbox"/> チケットは、受験後、生徒さんから回収いただき、破棄をお願いいたします。ご返送いただく必要はありません。 <input type="checkbox"/> 再チャレンジチケットはお手元に届きましたらすぐにご利用可能です。 <input type="checkbox"/> 最初に受験する「P検本試験」は有料です。

再チャレンジ受験（2回目）をする際は、本試験と同様に「受験申請」を行い、再度「受験ID」を取得してください。

授業、受験計画にあわせてご活用ください

**P検 免除テスト**

- P検免除テストには、「P検タイピング」と「P検アプリ」があり、「タイピング」「ワープロ」「表計算」などのテストをそれぞれ単独で受験することができます。
- 合格すれば、P検本試験を受験する際に、該当の等級・カテゴリーを免除（スキップ）することができます。
- 免除（スキップ）するカテゴリーには、P検免除テストに合格した時の得点そのまま適用されます。
- 「合格コード」は、同一年度内（直近の3月末まで）、何回でもご利用いただけます。

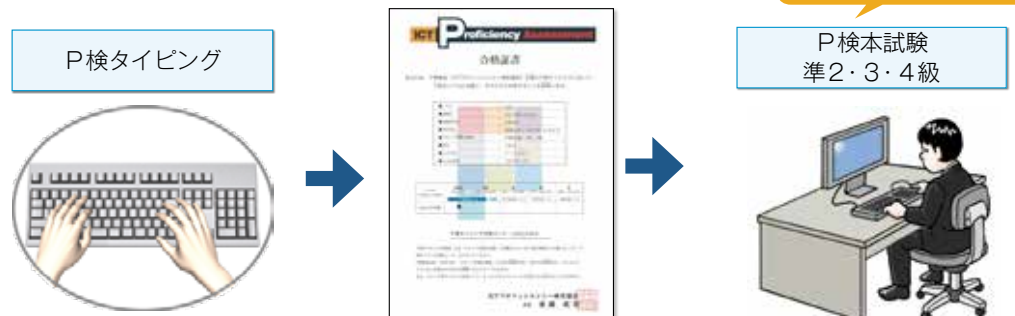


P検免除テスト	受験料 (学割価格)	カテゴリー	試験時間	合格基準
P検タイピング	無料	タイピング	5分	準2級：50点以上 3級：40点以上 4級：30点以上
P検アプリ 準2級、3級、4級	各級200円 (税込)	ワープロ	15分	得点率60%以上 準2級：9問中6問以上正解 3級：8問中5問以上正解 4級：5問中3問以上正解
		表計算	15分	

※所要時間は、試験時間+5分程度とお考えください。

**P検タイピング (無料)**

タイピングカテゴリー免除！（スキップ）



**① P検タイピングを受験**

- 「無料」で「いつでも」実施できます。
- P検の本試験と同じ「タイピングテスト」です。(5分間)

**② 合格証書を印刷**

- 得点が、P検準2級、3級、4級それぞれの合格ラインに達すると「合格証書」の印刷ができます。(受験者が自分で印刷する仕組みです)

**③ 「P検本試験」で「合格コード」を入力**

- 「P検タイピング合格証書」に記載されている「合格コード」を入力してP検本試験を開始すれば、その得点を適用してタイピングテストを免除（スキップ）することができます。
- 「合格コード」は、同一年度内（直近の3月末まで）、何回でもご利用いただけます。
- P検本試験は有料です。

「受験申請」、「受験方法」は、P検本試験と同様です。  
 ■ 参照：本ガイド11ページ (5-②)  
 ■ 詳細：「先生MENU」にログイン→「G. マニュアル」→「先生MENUの使い方」

## P検アプリ（各級200円税込）

### ◆「P検アプリ」の概要

- P検本試験（準2級、3級、4級）から、「ワープロ」「表計算」カテゴリーの問題だけを取り出したテストです。
- 「P検タイピング」（無料）と同様の仕組みで、合格基準に達すると合格コードが発行され、P検本試験を受験する際にそのコードを入力すると、該当カテゴリーが免除（スキップ）されるとともに、その得点が適用されます。
- 等級毎に受験申請をするだけで、ワープロと表計算を、それぞれ3回まで受験できます。
- 一日に一回しかログインができません。
- P検事務局から合格証書の郵送はなく、結果レポートを受験者が自分で印刷する仕組みです。



#### ① P検アプリを受験

- 200円(税込)で「いつでも」実施できます。
- P検の本試験と同じ「ワープロ」と「表計算」のテストでそれぞれ15分間です。

#### ② 結果レポートを印刷

- 試験が終了すると、結果レポートが印刷できます。（受験者が自分で印刷する仕組みです）
- 得点率が、60%以上になるとワープロ、表計算それぞれに「合格コード」が発行（記載）されます。

#### ③ 「P検本試験」で「合格コード」を入力

- 「P検アプリ結果レポート」に記載されている「合格コード」を入力してP検本試験を開始すれば、その得点を適用して該当カテゴリーを免除（スキップ）することができます。
- 「合格コード」は、同年度内(直近の3月末まで)、何回でもご利用いただけます。

「受験申請」、「受験方法」は、P検本試験と同様です。

- 参照：本ガイド11ページ（5-②）
- 詳細：「先生MENU」にログイン→「G.マニュアル」→「先生MENUの使い方」

### ■ 「P検アプリ」について “よくあるご質問”

#### 1) P検アプリは、級別に受験申請するのですか？

「はい、準2級、3級、4級の3種類があり、それぞれ200円（税込）となっています。」

#### 2) ワープロ、表計算を別々に受験申請しなくていいのですか？

「はい、一回の受験申請でワープロと表計算がパックになっています。」

#### 3) それならば、生徒が受験する際には、同時にワープロ、表計算を受験しなければならないのですか？

「いいえ、「受験者情報入力画面」の後に「アプリ選択画面」があり、そこで、ワープロだけ、表計算だけ、あるいは両方受験する等を、生徒さんが選択できます。」

#### 4) 3回受験できるとは？

「ワープロ、表計算をそれぞれ3回まで受験できます。ワープロを3回受験し、その後、表計算を3回受験する（計6回）ことも可能です。」

#### 5) 例えば、1回目のワープロで合格コードが発行されると、2回目以降は受験できないのですか？

「いいえ、受験できます。本試験を受験する際に、この合格コードを入力すれば、P検アプリの得点が適用されます。例えば3級の本試験の場合、「全体の65%以上の得点率」という合格基準があります。これをクリアするために、少しでも良い得点を取りたいと考える生徒さんのために、合格コードが発行されても、3回まで受験することができます。」

#### 6) では、3回受けたとして、1回目はWord 2016で合格、2回目はWord 2019で不合格、3回目はWord 2021で合格。

こういう場合、どの得点が本試験に適用されるのですか？

「次の通りの優先順位で自動的に得点を取得します。①最高得点、②最高得点が同点だった場合は最新バージョン、③「①②」が同じだった場合は最新の受験日。」

#### 7) 一日に連続何回まで受験できますか？

「残念ながら、一日に1回のログインしかできません。つまり、1回のログインでワープロと表計算を両方受験することも、表計算だけ受験することもできます。しかし、試験が終了してから、再度ログインすると、拒否されます。翌日以降なら再度ログインができます。」

#### 8) 受験申請してからいつまで受験できるのですか？

「受験申請の際に登録される「受験期間」内に初回の受験をしてください。（ワープロか表計算のいずれかでも可です。）2回目以降の受験は、直近の3/31まで有効となります。つまり、受験申請の際の「受験開始日」から直近の3/31までが有効期間となり、4/1以降はそれまでに発行された合格コードは全て無効となりますのでご注意ください。」

### 3 パソコン環境・仕様

7ページの「動作確認プログラム」が動作すれば、P検の実施に支障はありません。

項目	仕様										
■ OS	Windows 10/8/7/Vista										
■ CPU、メモリ	各OSのシステム要件に従います (推奨/ CPU: 1.6GHz以上、 メモリ: XP = 1G以上、Vista以上 = 2G以上)										
■ 画面解像度	1024 × 768ピクセル以上 (必須)										
■ 空きディスク容量	128MB以上 (必須)										
■ インターネット接続	インターネットへの常時接続が可能であること (必須) (推奨: ブロードバンド)										
■ ユーザー権限	管理者権限 (アドミニストレーター権限) でなくても実施可能です。										
■ アプリケーションソフト	<p>■ P検2～4級およびP検アプリでは、以下のアプリケーションの内、いずれかが必要です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>カテゴリー</th> <th>バージョン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ワープロ</td> <td>Word 2021/2019/2016/2013/2010/2007のいずれか</td> </tr> <tr> <td>表計算</td> <td>Excel 2021/2019/2016/2013/2010/2007のいずれか</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 2級では、プレゼンテーション実技テストがあるため、上記ワープロ・表計算に加え、以下のアプリケーションの内、いずれかが必要です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>カテゴリー</th> <th>バージョン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>PowerPoint 2021/2019/2016/2013/2010/2007のいずれか</td> </tr> </tbody> </table>	カテゴリー	バージョン	ワープロ	Word 2021/2019/2016/2013/2010/2007のいずれか	表計算	Excel 2021/2019/2016/2013/2010/2007のいずれか	カテゴリー	バージョン	プレゼンテーション	PowerPoint 2021/2019/2016/2013/2010/2007のいずれか
カテゴリー	バージョン										
ワープロ	Word 2021/2019/2016/2013/2010/2007のいずれか										
表計算	Excel 2021/2019/2016/2013/2010/2007のいずれか										
カテゴリー	バージョン										
プレゼンテーション	PowerPoint 2021/2019/2016/2013/2010/2007のいずれか										
■ プリンター接続	<p>■ プリンターが設定されていること。 実技試験で印刷設定などを行う際に必要です。</p> <p>■ A4用紙がセットされていること (P検タイピングで合格した場合の合格証書の印刷、P検アプリの結果レポートの印刷などに必要です)</p>										

#### ノートPCは、受験者が希望する場合のみOK



- P検は、公平を期すためデスクトップパソコンでの実施を基本としていますが、受験者（生徒）本人がノートPCでのP検受験を希望、もしくは承諾する場合は、ノートPCでのP検実施を認めます。  
(学校所有のノートPCに限ります/また、上記仕様は必ず満たしてください。)
- ノートPCでP検を実施する場合は、以下の事柄にご注意ください。

外付けマウス	必須
外付けキーボード	不要 (付けても可)
外付けテンキー	

#### 個人PCの持ち込みは厳禁



受験者（生徒）本人が所有するPCを使用してP検を実施することは厳禁です。セキュリティの観点から、学校所有のPC以外でのP検実施はご遠慮ください。

## 4 試験実施前の「パソコン動作確認」

P検を初めて実施する際は、まず動作確認をお願いします。(PCやOSの入れ替えをした場合も同様です)

### 「動作確認プログラム」(フリーID)

- 動作確認プログラム(フリーID)は、以下の目的・用途にご活用いただけます。
- 「動作確認」目的の場合、全てのPCで行う必要はありませんが、仕様の異なるPCがある場合には、代表的な一台のPCで、必ず本試験を実施する前に実行してください。  
(「2級」と、「準2級～4級のいずれか一つ」、の動作確認を必ず実施してください)
- 試験結果は取得されず、「先生MENU」の「E.結果データ」に反映されません。

#### 動作確認

- 全ての出題形式の動作確認ができます。
- ネットワーク通信テストも行います。

#### 試験の流れの 事前確認

- 先生ご自身が本試験の流れや画面イメージを確認したり、事前に生徒さんに見せたりする際に便利です。

#### エスコート として

- 試験中、プロジェクターで照射しながら、「受験者情報入力」画面までを、説明しながらエスコートするのに便利です。

### 動作確認の方法

#### ①先生MENUから、「デイリーパスワード」を確認する

以下のURLにアクセスします。

**URL** <https://pken-cbts.benesse.ne.jp/ta>

URLにアクセスできない場合は、22ページ「Q&A」-「Q13」をご覧ください。



左の「試験官ログイン画面」から、「会場コード」と「会場パスワード」を入力して「次へ」をクリックしてください。

\*「会場コード」「会場パスワード」がご不明な場合は、巻末ページ記載の電話番号からお問い合わせください。



先生MENUの「C. デイリーパスワード確認」をクリックして、4桁のデイリーパスワードをメモします。



動作確認

受験申請

本受験

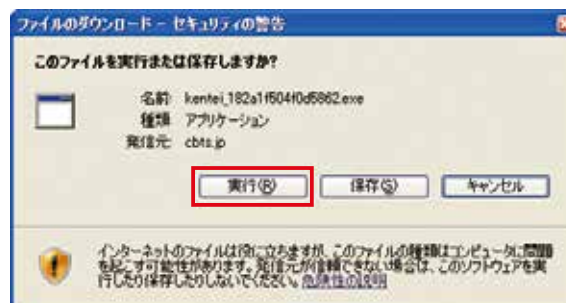
②試験（CBT）システムのダウンロード



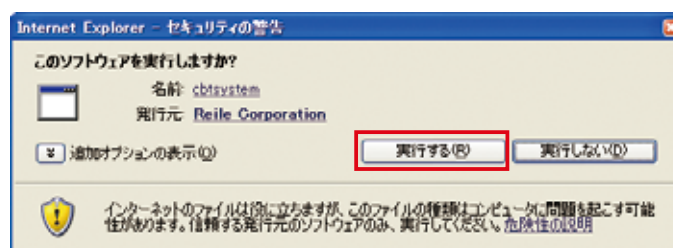
先生MENUの「試験システムのダウンロード」ボタンをクリックします。



「CBT-SYSTEMダウンロード画面」から、「会場コード」と先生MENUで確認した「デイリーパスワード」を入力し、ログインをクリックします。



ダウンロードが開始されますので、「実行」（あるいは「実行する」）をクリックし続けていくとダウンロードが完了します。



左図のような「セキュリティ警告」画面、あるいはご利用のセキュリティソフトによる警告が表示された場合には、「実行する」（または「許可する」）等をクリックしてください。



動作確認の方法 (続き)

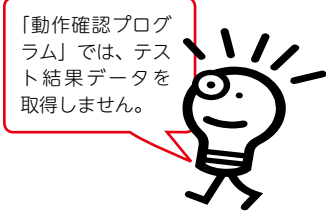
③ 動作確認プログラム (フリー ID) の起動



動作確認用フリー ID表 (全て半角小文字)

等級	受験ID	受験パスワード
2級	pken20	kakunin
準2級	pken25	
3級	pken30	
4級	pken40	
P検アプリ 準2級	pken72	
P検アプリ 3級	pken73	
P検アプリ 4級	pken74	

確認したい等級のフリー ID (上表の「受験ID」「受験パスワード」と先生MENUで確認した「デイリーパスワード」) を入力します。  
[次へ] をクリックします。



実技テストで使用する「アプリケーションとそのバージョン」が表示されます。

動作確認

受験申請

本受験

■試験時間は本試験と同じ設定になっていますので、動作確認だけを目的とする場合は、適宜右上の「終了する」ボタンをクリックして先へ進ませても構いません。

■最後までエラーメッセージが表示されなければ動作確認は無事に完了です。



以上ですべての試験が終了しました。  
 合否の通知は、後日発行されます。  
 画面はこのままで、  
 試験官の指示に従い、退室してください。  
 お疲れ様でした。

動作確認が終了すると、左のメッセージが表示され、本試験と同様に一切のキーが使えなくなります。

終了するには、  
**Ctrl** + **Shift** + **F12** を同時に押してください。

終了画面でキー操作ができなくなっているのは、先生が正常終了していることを確認してから終了するためです。



### 以上で動作確認は完了です。

- 「動作確認プログラム」が完了すると、デスクトップに「CBTアイコン」が生成されていますので、次回からは、CBTアイコンをダブルクリックするだけで「受験者ログイン画面」が表示されます。
- これで、いつでも本試験を実施する準備が整いました。

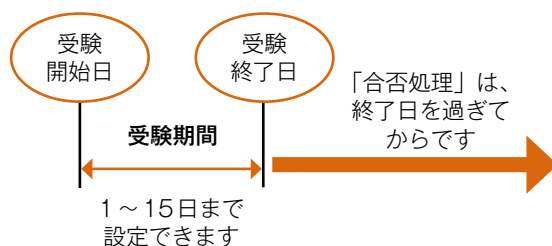
リカバリーソフトがインストールされている場合は、再起動時に元の状態に戻されてしまいますので、「試験システム」も「CBTアイコン」も消えてしまいます。

その場合の対応は、21ページ「Q&A」-「Q3」をご覧ください。

## 5 受験申請、本受験

### ① 「受験日」を決定する

- P検は、「随時」実施できますので、学校様の行事に合わせて受験日を設定することができます。
- 「先生MENU」から「受験申請」をする際には、「受験開始日」と「受験終了日」（最大15日間）を設定します。設定された期間中は、生徒さんを分散させて受験させることができます。（但し、3月31日から4月1日をまたいでの申請はできません）



- 開始日と終了日を設定しているのは、設定された期間中の全ての生徒さんの試験結果を一つの「成績一覧表」に集計してご提供するためです。
- P検事務局では、終了日を過ぎてから、まとめて処理をします。
- 成績一覧表は、合否通知などと一緒に送付されます。

### ② 「受験申請」をする

\* 図版は変更の可能性がありま。

以下のURLにアクセスします。

**URL** <https://pken-cbts.benesse.ne.jp/ta>

「試験官ログイン画面」から、「会場コード」と「会場パスワード」を入力して「先生MENU」へ進んでください。

\* 「会場コード」「会場パスワード」がご不明な場合は、巻末ページ記載の電話番号からお問い合わせください。



「先生MENU」の「A. 受験申請フォーム」をクリックしてください。

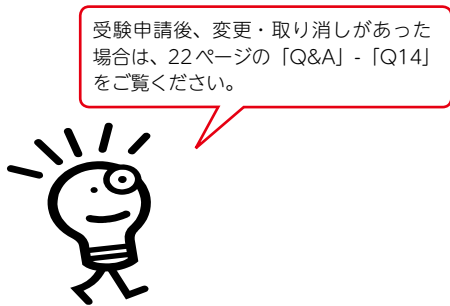
詳しい「受験申請方法」は、「G. マニュアル」の中の「先生MENUの使い方」をご覧ください。

「受験申請」は、試験日の1～2日前までに行っておくことをお勧めします。但し、システム的には試験開始直前に行っても実施可能です。





<受験申請フォーム>



- ① 受験開始日、受験終了日を入力します。  
 受験後の「合否通知」および「再チャレンジチケット」は、ここで入力した「受験終了日」以降の処理・発送となりますので、受領を急ぐ場合は、最短の受験終了日を入力するか、分けて受験申請をしてください。
- ② 「区分」(中学、高校、その他) を選択します。
- ③ 「学年」を選択します。受験が異なる学年の場合は、次の行を使用してください。
- ④ 受験予定者数を入力します。
  - 受験料は、実受験者数分しか発生しませんので、余裕をもってご申請ください。(P検タイプングは無料)
  - 「再チャレンジチケット」をご利用いただく受験分につきましても、同様に申請してください。(P検本試験を受験される際、再チャレンジ番号を入力することによって無料となります。)
- ⑤ 「先生名」
  - 今回の受験申請について、合否通知が発行されるまでの間に事務局よりご連絡をする必要が生じた場合のご連絡先として、ご担当先生のお名前や連絡用メールアドレスなどを入力し、チェック欄にチェックをしてください。
  - チェックは、メールアドレスの入力されている行に最低1つ以上必要です。(できるだけ2つ以上をお願いします)
  - チェックされた先生の部署名、先生名宛で、合否通知などを送付いたします。

<< 掲示用、生徒配布用「PR資料」(無料) >>

以下「PR資料」は無料です。  
 P検公式サイトにあるデータをダウンロードして使用、あるいは「お問い合わせ・資料請求」フォームから請求してください。

P検ポスター

校内掲示用ポスターです。  
**【表面】**：先生が試験実施日を記入することができ、P検の実施を生徒さんに告知できます。  
**【裏面】**：大学入試優遇校等の一覧になっています。

P検「受験のご案内」

生徒さんへお渡し頂く「生徒・保護者様向け」チラシです。

受験料提出袋

生徒さんが受験料を入れ、先生に提出するための封筒です。  
 ※P検公式サイト「お問い合わせ・資料請求」の「資料」請求書でご請求ください。



### ③ 「P検」を実施する（実施日当日）

#### ① 受験票の印刷

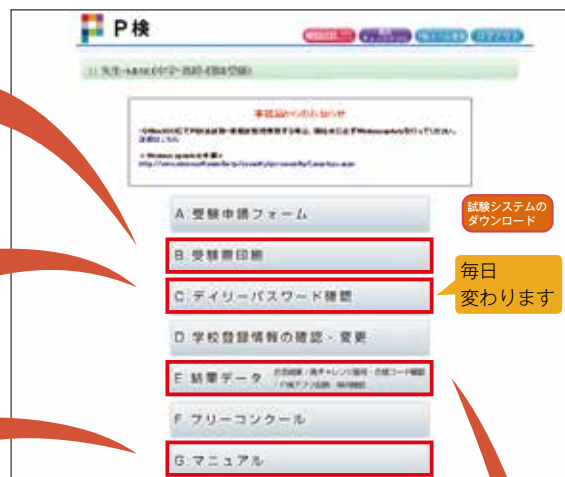
受験票を印刷し、生徒さんに配布して氏名を記入させます。（印刷はいつでもできます）

#### ② デイリーパスワードの確認

デイリーパスワードを確認し、黒板などの目立つところに表示します。（毎日変わります）

#### ③ 開始前の説明

18ページ記載の「試験開始前の注意事項」に従い、必要と思われる点について生徒さんに説明してください。



#### ④ 試験の開始

##### ■ エスコート

説明が終われば、15ページの「試験画面のながれ」に従い、「テスト全体の流れ画面」まで、操作方法の説明や確認を行いながら、エスコートしてあげてください。

##### ■ 開始合図

質問がなければ「開始」の合図をし、厳正な試験監督をお願いいたします。

#### ⑤ 試験の終了

##### ■ 受験票の回収

試験が終了したら、受験票を回収してください。  
（1ヶ月程度の保管の後、破棄してください）

- 試験終了10分後には、試験結果を確認することができます。（※ 2級だけ後日判定となります）
- 「P検タイピング」や「P検アプリ」の合格コード、「再チャレンジ番号」等を確認することもできます。
- 生徒さんの個人情報も含まれますので、2ページ「実施要項」に記載の「会場コード・会場パスワードの厳重管理」をお願いいたします。

「終了日」が過ぎて  
1～2週間で到着

### ④ 「合否通知」、「成績一覧表」、「ゆうちょ振込用紙」、「再チャレンジチケット」の受領

- 受験申請の際に設定された「受験終了日」以降、1～2週間程度で、上記全てを一括して送付いたします。
- 事務局では、受験申請毎の受験者分をひとまとめにして送付するために、「受験終了日」が過ぎるまで処理をせず、「受験終了日」が過ぎてから処理をいたします。
- 不合格者への「再チャレンジチケット」の発行は、4月1日から2月末日までの受験者が対象となります。

### ⑤ 「受験料」のお振り込み（1週間以内にお振込みください）

- 「ゆうちょ振込用紙」には「計算書」が添付されていますので、ご確認の上、受領日より**1週間以内**にお振込みください。
- 計算書では、受験申請の際に入力された人数ではなく、実際に受験された「実受験者」数のご請求となっています。
- 「再チャレンジチケット」による受験（無料受験）があった場合、「計算書」には人数のみ記載されており、受験料の請求はされません。
- 「再チャレンジチケット」は、生徒さんから回収して破棄してください。ご返送いただく必要はありません。

動作確認

受験申請

本受験

## 本試験—開始方法：試験（CBT）システムのダウンロード

P検を実施するには、全てのPCに試験（CBT）システムをダウンロードしておく必要があります。開始方法には、以下の2つがあります。

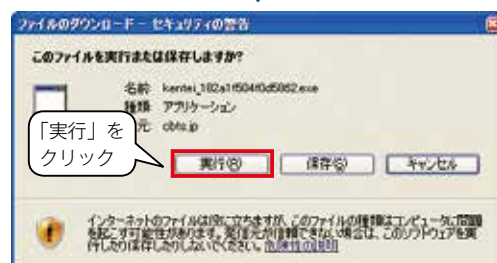
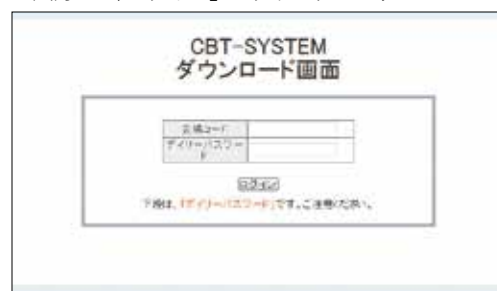
### 開始方法1

#### CBTアイコンがデスクトップに無い場合

（リカバリーソフトにより、試験（CBTシステムとCBTアイコンが消えてしまう場合は、こちらとなります）

- 以下のURLにアクセスします  
<https://pken-cbts.benesse.ne.jp/>

下の画面で「会場コード」と「デイリーパスワード」を入力し、「ログイン」をクリックします。



ダウンロードが完了し、「受験者ログイン」画面が表示されます。（詳細は、本書8ページ「試験（CBT）システムのダウンロード」をご覧ください）

\* 大人数でP検実施を「開始方法1」から始めるとPCセッティングに手間取りますので、初めから生徒さんに操作させても構いません。この場合、先生は頻繁に「会場パスワード」を変更いただくようお願いいたします。

### 開始方法2

#### CBTアイコンがデスクトップに有る場合

- デスクトップに生成された「CBTアイコン」をダブルクリックします。



#### 「CBTアイコンを簡単に生成する方法」

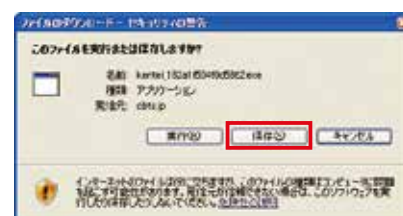
CBTアイコンは、本書7ページ「動作確認」で生成することができますが、以下の方法でも生成できます。

- ① <https://pken-cbts.benesse.ne.jp/> にアクセス  
（以降、左側説明と同様）
- ② 「受験者ログイン」画面で、「中止」ボタンを選択。  
\* 試験システムは中止されますが、「CBTアイコン」は生成されます。



### 複数PCに、試験（CBT）システムダウンロードを行う“便利な方法”

1. 事前に、試験（CBT）システムの実行ファイルを1つだけダウンロード。  
（「開始方法1」の試験（CBT）システムダウンロードのとき、「実行」ではなく「保存」を選択して、共有フォルダーに保存しておきます。
2. 各PCから共有フォルダーにある実行ファイルをダブルクリックすることで、試験（CBT）システムダウンロードが完了し、続けて受験者ログイン画面が表示されます。



動作確認

受験申請

本受験

## 本試験—試験画面のながれ (概要)

※3級本試験の場合

以下は概要です。

詳細な試験画面の遷移については、先生MENUの「G. マニュアル」の中の「画面遷移・解説」をご覧ください。

### ① 「受験者ログイン」

■生徒さんに「CBTアイコン」をダブルクリックさせると「受験者ログイン画面」が表示されます。

(リカバリーソフトがインストールされていて「CBTアイコン」が生成されないパソコンでは、「https://pken-cbts.benesse.ne.jp/」と入力し、試験システムのダウンロード(14ページを参照)から始めてください)

■「受験票」に記載されている「受験ID」と「受験パスワード」、黒板などに表示している「デイリーパスワード」を入力させ、「次へ」をクリックさせます。

「デイリーパスワード」は、生徒さんから見える位置(黒板など)に表示しておいてください。口頭で伝えても結構です。(デイリーパスワードは、試験当日に「先生MENU」から確認してください)



### ② 「身体障害者」の方のタイピング免除について

該当者がいない場合は次へすすんでください

手が不自由な生徒さんのうち、タイピングテストの免除を希望する場合は、クリックさせます。

この場合の合格証書には、「相当」という文字が入ります。

(例:「P検3級相当 合格」)

### ③ 「受験者情報」の入力

■赤の※印が付いている項目は、必ず入力しなければなりません。

■姓名などは合格証書に印字されますので間違いのないように入力させてください。

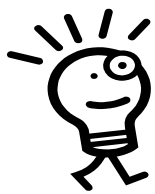




④ 「合格コード」・「再チャレンジ番号」入力画面



「再チャレンジ番号」などは、当日持参するよう事前に告知してください。紛失された場合は、「先生MENU」の「E. 結果データ」から確認することができます。



- 「再チャレンジ番号」「タイピング合格コード」「P検アプリ合格コード」を利用するときは、それぞれ「使う」をクリックしてから、「合格コード」などを入力します。
- 「使う」の場合、「次へ」をクリックすると、生年月日、名、級の一致確認をします。

⑤ テスト全体の流れ



- テスト全体の流れが表示されます。

⑥ タイピングテスト（準2～4級）



- 「タイピングテスト」の入力方法は、以下から選択します。
  - ローマ字入力（日本語）
  - かな入力（日本語）
  - 英語入力

⑦ 選択式テスト



- 「練習問題（3問）」が終わってから選択式テスト、その他等級により、メール操作、ファイル操作、疑似ブラウザ操作、ドラッグ&ドロップ、状況判断型テストなどが出題されます。

⑧ 実技テスト（2～4級）



- 選択式テストが終了してから、ワープロ、表計算と続いて実施されます。（準2～4級）
- 実技テストは、自動起動したアプリケーションソフトを使用し、課題に基づいて実技操作を行うテストです。

2級の場合はプレゼンテーションソフトの実技テストと、ワープロ・表計算による総合実技テストが実施されます。

⑨ 終了画面



- 試験結果データの送信が完了すると終了画面になり、一切のキー操作ができなくなります。

- 終了処理  
先生は、終了画面になっていることを確認した上で、**Ctrl)+Shift)+F12**を同時に押して終了してください。

動作確認

受験申請

本受験

## 本試験－「P検」実施手順／「受験日」にすること

### 1. 試験当日の「デイリーパスワード」の確認

「先生MENU」の「C.デイリーパスワード確認」から「デイリーパスワード」を確認してください。  
「デイリーパスワード」は毎日変更されます。

### 2. 「受験票」の説明

用意している「受験票」を配布し、受験級の確認と、氏名を記入させてください。

記入後、筆記用具は片付けさせてください。

「受験票」は、試験終了後に回収し、先生の試験実施記録として1ヶ月間保管し、その後破棄してください。

### 3. 「試験開始前の注意事項」の説明

右ページの「試験開始前の注意事項」をコピーしていただき、配布し、試験中の注意点を説明してください。説明後、回収してください。

### 4. 試験開始

デスクトップ上の「CBTアイコン」をダブルクリックするよう指示します。

CBTアイコンがない場合は、受験者に、14ページの「開始方法1」を実行させてください。

受験者ログイン画面が表示されますので、「受験票」に記載の「受験ID」と「受験パスワード」を入力させ、加えて、「デイリーパスワード」を入力させ、「次へ」をクリックさせます。

### 5. 試験中の監視方法

先生は、以下「試験フェーズと監視方法」表の通り、①「テスト全体の流れ」画面までは、生徒さんに説明しながらエスコートする感覚で進めてください。

「フェーズ②」では、10～15分に一回程度の巡回監視をお願いします。一ヶ所にとどまって全体を見渡すだけでなく、生徒さんが声をかけやすいように、すぐ近くをゆっくりと巡回するようにしてあげてください。手を挙げている生徒さんがいたら、速やかに応対してください。

	試験のフェーズ（画面の遷移）	監視方法
①	「受験者ログイン画面」 ～「テスト全体の流れ画面」	テストルーム内での「完全監視」 エスコートしてあげる感覚
②	各「試験開始画面」 ～「試験終了画面」	10～15分に一回程度の「巡回監視」

### 6. 試験中の質問への対応

試験中、いつでも「試験システムの操作」に関する質問には回答することができますが、試験問題の内容に関する質問には一切回答してはいけません。

### 7. 試験終了

#### ●生徒退室

「以上で全ての試験が終了しました。先生の指示に従い退室してください。」の終了画面が表示されれば試験は全て終了です。

試験結果データは自動的にCBTサーバーに送信されています。

終了画面では、キー操作が無効になっていますので、そのまま、生徒さんを静かに退室させてください。

#### ●結果レポートの提供

「P検タイピング」および「P検アプリ」は、受験者の意思で、合格コード取得内容を印刷することができます。

#### ●正常終了の場合

先生は、以下の隠しキーを操作することで、試験（CBT）システムを終了させることができ、試験問題データは自動的に削除されます。

<終了操作 **Ctrl** + **Shift** + **F12** >

# P検（ICTプロフィシエンシー検定試験）

## ■試験開始前の注意事項

### ①合否の結果通知は、1～2週間後、「先生」から渡されます。

- 合否の結果は、画面に表示されません。
- 合否通知は、試験終了日から1～2週間かかります。
- 「P検タイピング」と「P検アプリ」に合格した場合には合格証書の印刷ボタンが表示されますので、印刷してください。

### ②迷惑行為・不正行為の禁止

- 携帯電話は電源をお切りください。マナーモードではいけません。
- 試験が始まったら、大声を出す、歩き回る、カンニングする、試験問題を書き写すなどの行為は不正行為ですのでご注意ください。

### ③同意確認

- 試験がスタートしてすぐに、「守秘義務の同意確認」、「個人情報の取り扱いについて」という確認画面が表示されますので、内容を確認の上、「同意する」をクリックしてください。

### ④注意事項

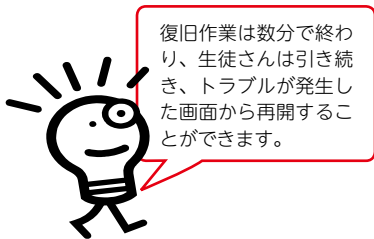
- 筆記具は、受験票に氏名などを書き終えたら、机の上から片付けてください。
- 再チャレンジで受験する生徒は、「再チャレンジチケット」を用意してください。
- 「P検タイピング」や「P検アプリ」の「合格コード」を使う生徒は、合格証書などを用意し、「入力画面」で、合格コードを入力してください。そのカテゴリーが免除（スキップ）されます。
- 受験票、P検タイピングの合格証書、P検アプリの結果レポート、再チャレンジチケット以外の「紙」は持ち込み禁止です。
- 先生は、試験システムの操作方法に関する質問には応えられますが、試験問題に関する質問には一切応えられません。
- パソコンにトラブルが発生した場合は、手をあげて先生に知らせてください。
- 「操作説明」を見る時間は「試験時間」としてカウントされますが、次の画面に変わる時間や、アプリケーションソフトが起動する間の時間などは、「試験時間」としてカウントされません。

### ⑤その他

- 手が不自由な方向への「タイピング免除」を希望される生徒は、「注意事項」の画面から、免除の設定をすることができます。
- ウイルスソフトの警告メッセージが表示された場合は、「許可、承諾、OK」などをクリックして、そのまま試験を進めてください。

- P検の試験 (CBT) システムには、「復旧機能」が備わっています。万が一、トラブルが発生した場合でも、その場でトラブルを解決することができます。
- 「復旧機能」で解決できないトラブルは、P検事務局までご連絡ください。
- P検事務局でも解決できないトラブルが発生した場合には、たいへん申し訳ありませんが、再受験扱いとなることもあります。

### 1 試験実施中のシステムトラブル（試験の途中で動かなくなるなど）



☞ ① **Ctrl + Alt + Delete** を押し、タスクマネージャーを起動し、「試験システム」のタスクを終了してください。

強制終了したPCで、再起動しないままデスクトップ画面に戻り、試験システムのCBTアイコンをダブルクリックすると以下のメッセージが表示されます。

受験中のデータが存在しています。試験官をお呼びください。

☞ ② **Ctrl + Shift + F11** を同時に押してください。

以下のメッセージが表示されますので、**デیلیーパスワードを入力**してください。

受験中のデータが存在しています。前回、異常終了した可能性があります。  
デیلیーパスワードを入力して「次へ」ボタンをクリックしてください。

☞ ③ 以下の画面で、「復旧する」をクリックしてください。

受験ID ○○○○  
名前 ○○○○  
受験日 ○○○○  
**復旧する**  
クリアする  
終了する

「試験再開」画面が表示され、試験再開の準備が整いますので、「開始する」ボタンをクリックして、試験を再開させてください。

一般問題、プロフィシエンシー (ICT を活用した問題解決) は、一問ずつの解答を試験実施PC内に記録していますので、システムトラブルが起きた時の画面から復旧することができます。  
但し、タイピングテスト、実技テスト・総合実技テストについては、途中からの復旧はできず、それぞれの問題の最初からの復旧となります。

以下の場合には「復旧機能」を利用することができませんので、再受験となります。

- ① 試験実施PC自体の故障
- ② 試験実施PCにインストールされているリカバリーソフトにより復旧データが削除された場合

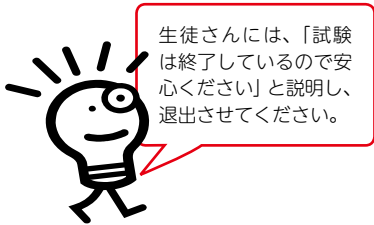
P検事務局：0120-311-588 (通話料無料)


※受付時間：月～金 10:00～18:00 (祝日、年末・年始を除く)

※受付時間については、新型コロナ感染状況等の社会環境により変更する場合があります。  
最新の情報はP検公式サイトでご確認ください。

## 2 試験終了後のトラブル

試験結果を、送信できない場合は、以下のメッセージが表示されます。



エラー	対応
<p>①送信エラー (トラブルコード10)</p> <p>試験結果の送信に失敗しました。試験官をお呼びください。(コード 10)</p>	<p>※① <b>Ctrl + Shift + F11</b> を同時に押してください。</p> <p>以下のメッセージが表示され、更なるリトライが、10秒ごとに10回繰り返されます。</p> <p>CBTサーバーへの試験結果の送信が完了していません。現在、試験システムは、リトライを繰り返しています。しばらくこのままお待ちください。 [○回目] 送信に失敗しました。次のリトライまで○○秒。</p> <p>送信が完了すると次のメッセージが表示されます。</p> <p>※② <b>OK</b> をクリックすると試験 (CBT) システムは終了します。</p> <p>結果の送信が完了しました。終了します。</p> <p><b>OK</b></p> <p>《上記でも送信できない場合》 以下のメッセージが表示されます。</p> <p>結果データの送信に失敗しました。下の「試験結果を保存する」ボタンをクリックすると保存先を選択するダイアログが表示されますので、ネットワーク上の任意のフォルダーやUSBメモリなど確実に保存できる場所を選択して、「保存」ボタンをクリックしてください。</p> <p><b>試験結果を保存する</b></p> <p>① [試験結果を保存する] ボタンをクリックして、任意の場所に「試験結果データ」を保存の上、試験システムを終了してください。 ② 保存と終了ができましたら、<b>P 検事務局までご連絡ください。</b> (保存された結果データをP検事務局に送信していただく必要があります)</p>
<p>②採点エラー (トラブルコード11)</p> <p>実技テスト(××××)の採点に失敗しました。</p> <p><b>OK</b></p> <p>↓ [OK] をクリック</p> <p>実技テストの採点処理に失敗しました。試験官をお呼びください。(コード11)</p>	<p>※① <b>Ctrl + Shift + F11</b> を同時に押してください。</p> <p>以下のメッセージが表示されます。</p>  <p>※② <b>【終了して復旧を行う】ボタンをクリック (①のボタン)</b></p> <p>試験システムがいったん終了し、デスクトップ画面に戻ります。デスクトップにあるCBTアイコンをダブルクリックすると、以下のメッセージが表示されます。</p> <p>受験中のデータが存在しています。試験官をお呼びください。</p> <p>※③ <b>Ctrl + Shift + F11</b> を同時に押してください。</p> <p>この後は、前ページの「1. 試験実施中のシステムトラブル」の②以降同様の処理を行ってください。</p> <p>《上記でも送信できない場合》</p> <p>① [試験結果の強制送信へ] ボタンをクリックし (②のボタン)、次画面で ② [試験結果を強制送信する] ボタンをクリックし、送信完了したら ③ [終了する] ボタンをクリック * 終了後、<b>P 検事務局までご連絡ください。</b></p>

### Q1. ワードやエクセルなどがインストールされていなくても実施できますか？

- ・ 実技テストや総合実技テストが含まれている等級（2～4級およびP検アプリ）を実施する場合には、仕様で定められたアプリケーションソフトがインストールされている必要があります。（参照：6ページ）

### Q2. 複数のバージョンが入ったPCでも実施できますか？

- ・ 仕様（参照：6ページ）で定められたアプリケーションとそのバージョンが1つ以上インストールされていれば実施できます。但し、試験で使用するバージョンは1つとなり、以下のバージョンが自動的に選ばれます。

●ワープロ（Word）	最後に使用したバージョン
●表計算（Excel）	最後にインストールしたバージョン
●プレゼンテーション（PowerPoint）	最後にインストールしたバージョン

### Q3. リカバリーソフトがインストールされていても実施できますか？

- ・ はい、実施できます。以下は注意点です。
- ・ リカバリーソフトがインストールされている場合は、再起動時に元の状態に戻されてしまいますので、「試験システム」も「CBTアイコン」も消えてしまいます。
- ・ そのため、試験を実施する度に7ページの「動作確認の方法」の①で「デイリーパスワード」を先生が確認し、8ページの②「試験システムのダウンロード」から以降を生徒さんにさせることにより試験はスムーズに実施できます。

#### <もう一つの方法>

- ・ 事前に、試験システムの実行ファイルを1つだけダウンロード（8ページの②「試験システムのダウンロード」の際、「実行」ではなく「保存」を選択）して、共有フォルダーに保存しておきます。
- ・ 各PCから共有フォルダーにある実行ファイルをダブルクリックすると、受験者ログイン画面が表示されます。（複数PCからの場合便利です）

### Q4. シンククライアントでも実施できますか？

- ・ システム構成により異なりますので、事務局までお問い合わせください。

### Q5. インターネットに繋がっていないとできませんか？

- ・ はい、インターネットに接続できる環境であれば実施できます。（参照：6ページ）

### Q6. 試験中にインターネットが切断されたらどうなりますか？

- ・ 試験システムは、「ログイン時」、「試験問題ダウンロード時」、「試験結果データアップロード時」の3回だけインターネットに接続し、それ以外は接続していません。従って、切断されても、すぐに復旧したのであれば、支障なく進められます。
- ・ もしトラブルが発生した場合には、必ずエラーメッセージが表示され、ほぼ全ての状況から復旧させることができます。但し、リカバリーソフトが入っているPCで、再起動されると復旧が難しくなってしまいます。
- ・ 復旧機能に関する詳細は、先生MENUの「G. マニュアル」の中にある「P検実施マニュアル」をご覧ください。

### Q7. 成績一覧表や可否の通知などは、いつ頃送られてきますか？

- ・ 先生MENUの「A. 受験申請フォーム」で設定された「受験終了日」以降、1～2週間程度で送付いたします。
- ・ 事務局では、受験申請毎の受験者の可否通知などをひとまとめにして送付するために、終了日が過ぎるまで処理をせず、終了日が過ぎてから処理をいたします。そのため、2級が含まれていない場合には終了日から1週間程度、含まれている場合には総合実技テストの採点を人が行うため、1～2週間となってしまいます。

### Q8. 受験申請は、「紙」でもできますか？

- ・ いいえ、紙では受け付けておりません。「先生MENU」の「A. 受験申請フォーム」からのみ受け付けています。

### Q9. 「会場コード」・「会場パスワード」が分からない場合は？

- ・以下へお問い合わせください。
  - 「会場コード」「会場パスワード」専用電話番号：0120-501-084（通話料無料）
  - \*受付時間：月～金 8：00～18：00 土 8：00～17：00（祝日、年末・年始を除く）

会場コードと会場パスワードは、厳正に管理し、  
会場パスワードについては、定期的に変更してください。  
（「先生MENU」の「D.学校登録情報の確認・変更」より変更できます）

### Q10. 本試験で、「再チャレンジ番号」や「合格コード」の入力をし忘れたのですが？

- ・「再チャレンジ番号」を入力し忘れた場合
  - お手元に生徒さんの「受験ID」と「再チャレンジチケット」をご用意の上、事務局までご連絡ください。
- ・「タイピング合格コード」や「P検アプリ合格コード」を入力し忘れた場合
  - お手元に生徒さんの「受験ID」と「合格コード」をご用意の上、事務局までご連絡ください。

### Q11. 「再チャレンジ番号」や「合格コード」を忘れた。再チャレンジチケットや合格証書を失くした。

- ・以下の場合、先生MENUの「E.結果データ」画面から、「合格コード」や「再チャレンジ番号」などを確認することができます。
  - 「再チャレンジチケット」を失くして再チャレンジ番号が解らなくなった場合
  - 「タイピングカテゴリ合格証書」を失くして合格コードが解らなくなった場合
  - 「P検アプリ結果レポート」を失くして合格コードが解らなくなった場合

### Q12. 「受験料」と「教材」の支払いは一緒にできますか？

- ・いいえ、「受験料」と「教材」の振込先は別となりますので、お届けする専用の振込用紙で、それぞれお振込み願います。
- ・なお、有料教材をご注文いただいた場合は、教材と納品書は一緒にお届けいたしますが、「請求書・振込用紙」は、月末に月間納品分をまとめて、別送させていただきます。

### Q13. P検（先生MENUや試験システムダウンロードのURL）にアクセスできない。

- ・アクセス制限やダウンロードの制限がかかっている可能性があります。サーバーを管理している地方自治体の教育委員会等に以下4つのURLにアクセスできるよう、お願いをしてください。
  1. <http://pken-cbts.benesse.ne.jp/>
  2. <https://pken-cbts.benesse.ne.jp/>
  3. <http://pken-exam.benesse.ne.jp/>
  4. <https://pken-exam.benesse.ne.jp/>

### Q14. 受験申請後、変更・取り消しをしたい。

- ・受験申請後の「変更・取り消し」はできませんので、新たに受験申請を行ってください。
- ・既に申請したものは、使用しなければ自動キャンセルとなり、受験料も発生しません。

### Q15. 再チャレンジ番号は、いつ発行されますか？

- ・「受験終了日」翌日以降、事務局で成績処理が完了したタイミングで発行されます。
- ・先生が入力した「受験終了日」より前に、再チャレンジ番号を発行することはできませんので、ご注意ください。

# P検

進化するICT社会のパスポート

お気軽にお問い合わせください。

**先生専用フリーダイヤル** (通話料無料)

**0120-311-588**

\*受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝日、年末・年始を除く)

「会場コード」「会場パスワード」が分からないときは…

《専用電話番号》

**0120-501-084** (通話料無料)

\*受付時間：月～金 8:00～18:00 土 8:00～17:00 (祝日、年末・年始を除く)

本ガイドの内容は変わることがあります。最新の情報については、P検公式サイトをご覧ください。

## お問い合わせ

P検事務局 (窓口) 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6丁目67

マイナビ不動産ビル 神楽坂 8階

先生専用フリーダイヤル：0120-311-588 FAX：0120-311-303

先生専用メール：dantai@pken.com

公式サイト：<https://www.pken.com>

